

洪水浸水想定区域とは 土砂災害情報とは

洪水浸水想定区域とは

「計画規模」と「想定最大規模」の降雨について

洪水を引き起こす雨量については、「計画規模」の降雨と「想定最大規模」の降雨の2種類があります。
計画規模の降雨とは、100～200年に1度程度の割合で発生する降雨量を想定したもので、河川整備など洪水防御に関する計画の基本となる降雨です。一方で、想定最大規模の降雨とは、想定し得る最大規模の降雨のことで、1000年に1度程度の割合で発生する降雨量を想定しています。
この想定に基づき示したものが洪水浸水想定区域です。

熊本県管理河川の水位周知区間の浸水想定区域について

この洪水浸水想定区域図は、白川水系河川(白川)の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
この洪水浸水想定区域図は、指定時点の白川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により白川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

作成主体:熊本県土木部河川課 指定年月日:2019年3月29日

熊本県管理河川の水位周知区間以外の浸水想定区域について

対象河川:緑川水系河川(木山川、金山川、布田川、滝川)、白川水系河川(鳥子川)
この洪水浸水想定区域図は、対象河川の法河川区間(水防法に基づく洪水予報区間及び水位周知区間外)について、氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される水深を表示した図面です。
この洪水浸水想定区域図は、作成時点の地形地物の状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により対象河川が氾濫した場合に推定される氾濫の状況をシミュレーションにより求めたものです。
なお、このシミュレーションの実施にあたっては、河川堤防の決壊による氾濫範囲の拡大、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図に表示されていない区域においても氾濫が発生する場合があります。

作成主体:熊本県 指定年月日:2022年3月29日

土砂災害情報とは

土砂災害特別警戒区域(通称レッドゾーン)とは

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われる区域です。

土砂災害警戒区域(通称イエローゾーン)とは

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われる区域です。

注意 土砂災害警戒区域や浸水想定区域に指定されていない区域であっても、災害が発生しないというものではありません。危険を感じたら速やかに安全な場所へ避難してください。また、作成に関しては、最新の注意を払っておりますが、縮尺の関係上、実際とは若干の誤差が生じている場合があります。詳細については、村、県の出先機関である阿蘇地域振興局、あるいは熊本県土木部砂防課、河川課にお問い合わせください。

